

孤独死対策の充実を



瀬川貞清議員

これに対し、市長と担当者は「緊急通報装置設置事業は、疾病等の原因で体調の急変等が心配な独り暮らし高齢者等が、緊急時にあんしんセンターにつながる通報機器を設置すること、随時の見守りや、速やかな救援を行えるようにする事業です。令和4年10月末現在、99世帯に設置しており、事業の拡充については、市の広報やホームページで事業内容

緊急通報装置の貸与拡充に努める

1月30日の奥州市議会12月定例会の一般質問において、瀬川貞清議員は、最近市内で発生した「孤独死」問題を取り上げ、また、佐藤美雪議員は、児童生徒の健康を守る取り組みについて質しました。

瀬川議員は、「孤独死」防止対策としての「高齢者生活サポート事業（緊急通報装置の貸与事業の拡充について質問しました。

等の情報提供を行い、市民への周知を行う」と述べました。

また、市では今年度から奥州市小さな拠点づくりモデル事業「高齢者見守りサービス事業」に取り組みなど、地域による高齢者見守り体制を構築する事業を進めている。今後も見守りが必要とする高齢者が安心して暮らすことができるよう、地域住民や民間協力事業者と連携し、福祉コミュニケーションづくりを進める」と述べました。

民報
おうしゅう

読者版

発行
赤旗奥州出張所
水沢字久田 62
Tel 24-2021
Fax 24-2049

信号機のない横断歩道の撤去方針は却下になった

瀬川貞清議員は、第2問目に水沢東バイパスにかかる信号機のない横断歩道の撤去方針のその後の進展について質問しました。

安全安心な地元産農産物の積極活用を

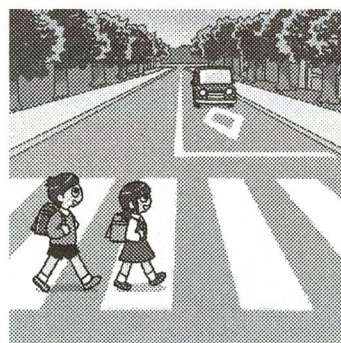
佐藤美雪議員は、安全安心な学校給食の在り方について質問。「子ども達の成長にも関わる学校給食は安全安心でなければならぬ。親の大きな願いであり、給食に使ってほしい、という生産者からの声にも応え、有機農畜産物をもっと活用していくべきではないか」と質しました。



佐藤美雪議員

これに対し、市長は「令和4年7月20日に開催された奥州警察署交通規制対策協議会で、『市道慶徳杉の導線との交差点部』及び『市道大町杉ノ堂線との交差点部』の2箇所の横断歩道について、廃止を却下する答申報告がありました。なお、その答申には『水沢東バイパス完全供用に併せて再検討』との付帯意見がついている等と述べました。

撤去の方針は却下になった

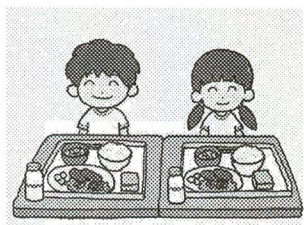


条件が整うなら活用していきたい：教育長

それに対し、教育長は、「生産量や虫による害などの課題はあるものの、条件が整うなら活用していきたい。」と述べました。

今こそ、学校給食費無償化への取り組みを！

更に、佐藤議員は小、中学校の給食無償化への取り組みについて「子育て支援、少子化対策として全額無償、すぐに難しければ半額、第2子以上無償など段階的にでも行っていくべき」と質しました。



全額無償には4億円。第2子以降無償には、1億1500万円

教育委員会は、給食無償化にかかる予算を提示し、「現実的ではない」と述べました。市長は、教育委員会の答弁を支持しつつ、「本当に少子化対策につながるのであれば段階的にでも進めていく必要がある。」と述べました。

生理用品を小、中学校のトイレ個室に設置を！

佐藤議員は、全国的に問題となっている『生理の貧困』問題を取り上げ、「貧困だけでなく学習する権利を守り、声をあげられない子ども達の思いを受け止めるためにも生理用品のトイレ個室への設置は必要ではないかと質しました。

防災備蓄品は、来年度使用期限を迎える

教育委員会は、「基本的には保健室に生理用品を設置し、必要な時には申し出る、という方針。防災備蓄品の活用についても担当部局と検討していく」と述べるにとどまりました。